

【No. 9】

ひとりの輪
家族の輪
近所の輪
地域の輪

みんなの輪

平成 28 年 11 月 25 日

発行者

富岡第二地区

社会福祉協議会

富岡八幡宮「祇園舟」新造奉仕船進水式

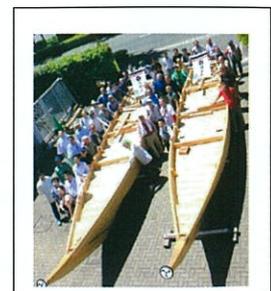
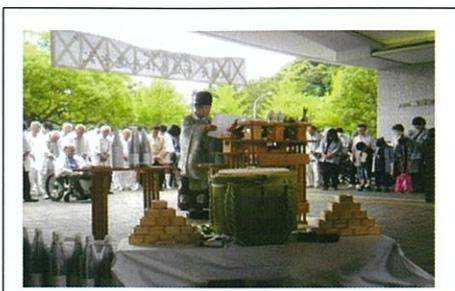


「^{ぎおんふね}祇園舟」とは富岡八幡宮に 800 年以上の伝統を持って継承されている例大祭に伴う特殊神事で、横浜市無形文化財の第一号に指定されている行事です。青茅で作った舟に一年分の^{つみけがれ}罪穢を託して沖合遠く流しやる夏越の神事で、「^{はちまんまる}八幡丸」「^{やさかまる}弥栄丸」という^{ごちようろ}五丁櫓の木造和船で行われ、^{つみけがれ}帰路は罪穢からいち早く遠ざかる事から、岸まで^{きょうそう}全速力の競漕が行われる勇壮なお祭りです。

この祭りに奉仕する木造和船が、今年 80 年ぶりに新造船され 6 月 19 日に、富岡八幡公園の船溜りで進水式が行われました。

今まで奉仕した舟は昭和 12 年に造られたもので、修理を繰り返しながら使われてきましたが、腐りから水漏れが多くなり、新造船をする事となりましたが、現在木造和船の制作者が全国的にも非常に少なくなり、一年掛かりで瀬戸内海の山口県祝島の「新庄造船所」に辿り着き、材料調達を含め一年程で目出度く進水の運びとなりました。

当日は祇園舟保存会の会員や地元の人達約 300 人が参加し、餅撒きなど賑やかに行われました。木造船の船大工が希少となる中、後世に大切に残したいものです。（祇園舟保存会・富岡八幡宮 宮司 佐野 主水）



わが町の歴史を探る ⑥

「地福山 宝珠院 (真言宗御室派)」

当山は地福山 宝生寺 宝珠院と称し、開山は隆成法印(天文二十二入寂)とあり、天文年間に創建された。また、寛永年間に地頭豊島信満が大檀那となり、堂宇を建立したと伝えられる。しかし、寛永年間の創建との説もあり、詳しい縁起は定かでない。ご本尊様は大日如来である。創建時のご本尊様は地蔵菩薩で、その左手に持つ宝珠から寺号がついた。現在も堂内に座像、立像、境内入口にも地蔵菩薩が祀られている。境内には大銀杏(樹齢250年以上)が中央にそびえ立ちまた、永代供養墓「珠光廟」の横には山桜(樹齢150年以上)が、どちらも横浜市の名木・古木に指定されている。



山門

寺宝に修復した弘法大師像があり、当時の住職法印秀海で宝永二年(1705)鎌倉仏師 三橋薩摩の作。その後、子孫三橋永助が安永三年(1774)に修復し、天保五年(1834)に同名の子孫永助が修理を加えた。天保年間修復時の体内納入銘札の通り、平成23年の修復時に舍利一粒が納入されていることを確認。体内の2枚の銘札には、施主名等が記してあり、代々檀信徒が大切にこの大師像を護ってきたことを伺わせる。

そのほか、東国霊場72番札所としての本尊大日如来や千手観音菩薩坐像、秘仏として聖天像、弁才天像がある。京都の仁和寺を総本山とする真言宗御室派の末寺である。下記写真の寺号額は、「高野山 蓮華定院 添田隆俊大僧正」揮毫。

(地福山 宝珠院 住職 佐伯 隆道)



(修復前)



案内図(京急富岡駅徒歩8分)

横浜市指定名木・古木
「大銀杏」と「山桜」



「歌でつなごう 伝えよう」まちかどコンサート

10月18日(火)富岡会館において、富岡小学校5年生の合唱の発表がありました。富岡小学校からのコメントとして「金沢区は一人暮らしの高齢者や空き家が増えて来ているのが現状です。こういう時こそ人と人とのふれあい、助け合うきっかけとなるコミュニケーションの場を大切にしていくことを考えています。自分たちの力で少しでも地域のためになることはと考え、自分たちの得意である『合唱の力』で町を元気づけようと思いました」との児童や先生の熱い思いの企画です。

当日は短い時間でしたが、児童の素晴らしい歌声で日本の唱歌などを歌ったり、住民の皆さんも一緒に「ふるさと」を口ずさんだり、楽しい時間を共有できました。富小の児童、先生ありがとうございました。



第1回「とみにウォークラリー大会」わが町を探訪

11月3日(木)富岡第二地区で第1回目の「とみにウォークラリー」を開催しました。今回の行事は昨年まで実施しました「ボウリング大会」に変わる新しい企画で、富岡第二地区連合町内会及び地区社会福祉協議会の主催で実施しました。当日は晴天に恵まれ、親子連れや友だちどうしなど約160人が参加(スタッフ込み約215人)、なれない「コマ図」を見ながらの約3kmのコースを悪戦苦闘?しながらゴールの富岡八幡公園プール前(富岡会館)を目指しました。内容的にはコース途中のチェックポイントのクイズやじゃんけん大会・抽選会および参加賞など盛り沢山の企画、ゴールでは美味しい手作りの「おにぎり・トン汁」が用意され、みんなで楽しい一日を過ごしました。



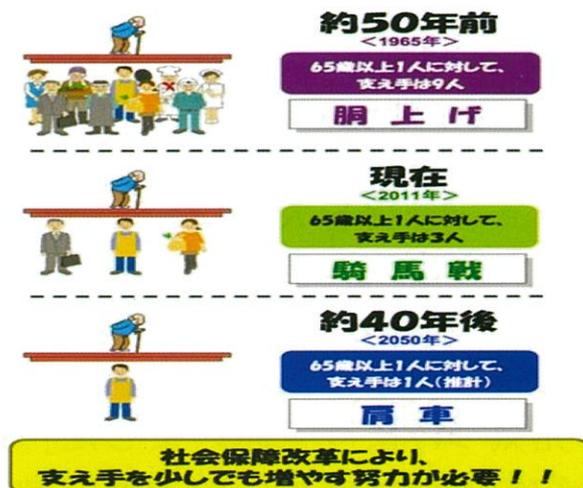
富岡東地域ケアプラザからお知らせ

平成28年4月より始まっている“生活支援体制整備事業”と、それに伴いケアプラザに配置された“生活支援コーディネーター”について紹介させて頂きたいと思っております。

生活支援体制整備事業とは？

日本は超高齢化社会に突入しています。高齢者が増え、支える世代が減る事により介護の担い手不足等が問題になっています。(右図)

そこで、自助・共助・公助を繋げ、住み慣れた家・地域でいつまでも生活出来る体制を作る事業です。



しかし、何をどうしたら…

私たち生活支援コーディネーターの出番です！！

私たちは、地域の方々から、不安や困りごとをお聞きし、解決できる様、ボランティア団体やサロン等と住民が中心となり、いつまでも住み慣れた家や地域で生活出来る体制を作るお手伝いをします。

例えば、「とみにスリーA」のような、楽しみながら、介護予防や認知症予防が出来るサロン等を企画し閉じこもりがちな方や、困りごとを解決するきっかけ等作ってまいります。



最後に、富岡第二地区では知らない人はいない、認知症予防体操スリーA“明るく・頭を使って・諦めない”この頭文字3つのAに掛け、『ありがとう・あなたが作るみんなの輪・明るい未来 富岡第二』これをモットーに、地域の力をお借りして一緒に体制づくりをゆっくりと行っていきます。(生活支援コーディネーター 三留 健史)

【編集後記】

今回も、話題満載のNo. 9をお届けすることが出来ました、如何でしたでしょうか？これからも題名同様、「みんなの輪」を広げていきたいと思っております。今後もお期待下さい。紙面に掲載をご希望される方は各町内会長・各自治会長および広報委員にご連絡をお願い致します。お待ちしております。(編集委員 小松 理枝)